

委員会海外調査実施計画書

令和6年7月4日

神奈川県議会議長 殿

委員会名 環境農政常任委員会

委員長名 田 中 信 次

海外調査を次のとおり計画しましたので、調査を実施いたしたく、よろしく申し上げます。

1 調査期間	令和6年8月19日（月）～ 8月22日（木）（4日間）	
2 調査先（国・機関名等）	シンガポール共和国 ・同国政府及び政府関係機関等（循環型社会づくり及び脱炭素社会推進の取組） ・スマート農業等の研究機関及び施設（スマート農業推進の取組）	
3 調査目的	<p>【循環型社会づくり及び脱炭素社会の推進】 シンガポール共和国は、狭小な国土（東京23区程度）に560万人を超える人口を擁しており、廃棄物処理のための施設や場所の確保が課題となっている。このため、同政府国家環境庁では、2019年に「ゼロ廃棄物マスタープラン」を策定し、課題であるごみの削減とリサイクル率の向上を図り、廃棄物の埋立て量の削減を目指し取り組んでいる。</p> <p>また、シンガポール国立大学（デザイン・環境学部）においては、2019年の施設再開発の際に、ZEB基準を満たす施設として設計され、屋根には、1,200を超えるソーラーパネルが設置されるなど、熱帯気候の中でも自然に涼しく過ごす工夫もされたネット・ゼロ・エネルギーのキャンパスとなっている。</p> <p>こうした同国における循環型社会づくり推進の取組や、脱炭素社会の実現に向けた取組を視察することにより、本委員会審査の参考に資するものとする。</p> <p>【スマート農業等の推進】 同国では、農業に使用できる土地が非常に少ないという中において、食料自給率を高めるため、ICT技術を活用した都市型農業を推進しており、野菜や鶏卵農場の分野において、その取組が進んできている。</p> <p>こうした同国におけるスマート農業等の推進の取組について視察することにより、本委員会審査の参考に資するものとする。</p>	
4 調査項目	<p>1 公害の防止その他環境の保全に関する事項について（循環型社会づくり及び脱炭素社会の推進の取組について）</p> <p>2 農業、林業及び水産業に関する事項について（スマート農業等の推進の取組について）</p>	
5 参加予定人数	正副委員長・委員 13名	
6 経費の概算額	旅 費	4,160,000円
	その他経費	3,430,000円